

Title	第五回早慶連合史學會；三田史學會例會報告
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1958
Jtitle	史学 Vol.30, No.4 (1958. 3) ,p.141(559)- 143(561)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19580300-0141

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

堂はよく周囲の勝景と調和して美しい好建築である。

ここで全日程を終り、三時頃無事解散した。

今回の見學旅行に際し、格別の便宜を與えられた社寺、學校關係の當事者の方々、塾員の方々から心からの感謝を意を表する次第である。(長祥隆記)

第五回早慶連合史學會

恒例の早慶連合史學會第五回大會を昭和三十二年十二月七日午前九時三十分から早稻田大學文科系大學院小野梓先生記念講堂で開催した。研究發表者及びその題名は次の如くである。

南朝租税制度の特徴

古賀 登氏(早)

アテナイの在留外人

宮崎 武三氏(慶)

ハーバート・バタフィールドの見たアクトン史學

—歴史に於ける道德的判斷の問題を中心に—

榮田 卓弘氏(早)

奈良時代に於ける宇佐八幡の託宣について

佐志 傳氏(慶)

公開講演(午後一時半より)

門閥としての弘農楊氏について

竹田 龍兒氏(慶)

地方史研究とイギリス經濟史學

小松 芳喬氏(早)

會終了後、大隈會館にて懇親會が催され多數の出席をみた。なほ當日、大隈記念室、初期日英外交史資料の展覽が行われた。

第四五〇回三田史學會例會

昭和三十二年十二月十七日 於七番教室

慶應義塾の最初の外人教師雇入れについて

會田 倉吉氏

第四五一回例會 卒業論文發表會

一月二十四日 於二十三番教室

二十五日 於 一番教室

西洋史專攻

大矢 寛治君

アメリカ初期における選民意識

イギリスにおけるいわゆる「初期産業革命」について

平松 茂雄君

十七・八世紀イギリスにおける織維技術革命について

内海 彪君

ワイマール共和國におけるインフレーションの問題

一岡 利隆君

イギリスにおける工場法の歴史——捺染工場、染色漂白工場

鈴木 覺君

レース工場について——

アメリカにおける黒人奴隸制

河邊 博史君

リンカーン時代における奴隸制度に關する考察

奴隸制が米國政治社會に與えた反動的衝撃
デイドロの思想—神と自然と人間に關して

横田 仁司君
佐山 勇君

—その變遷とリンカーンの對策—

臺 惠雄君

アメリカの大統領制度

吉松 楨一君

英國とナポレオン三世

坪川 良平君

アメリカの奴隸制度の發生と初期の發展經過

青木 信也君

シヨージ・カンニングの中南米政策についての一考察

アメリカに於ける黒人奴隸制度終焉までの經過

熊谷 文子君

鈴木 淳美君

リンカンについて

佐藤 宏海君

一七六〇年—一八三二年英國の農業労働者の生活状態について

川上 浩君

國史專攻

マルチン・ルター — ルターとドイツ宗教改革時代 —

金子 義武君

參勤交代改革意見について

林 陽三君

九世紀に於ける東西教會の分裂

三宮 靜子君

松代藩に於ける江戸財政の研究

小方 博子君

アツシシのフランチェスコに見るルネサンスの始源

中世武士の黨的結合について

大石 義民君

ローマ初期の家族とその法思想

守屋千重子君

信州伊那に於ける南山一撥研究

大久保隆資君

パウロの傳道と十字架の信仰

平野 泰三君

岩手縣に於ける名子制度の變遷

齋藤 寛君

ハーディングと疑獄

猪狩 武久君

福島事件に於ける鬪争經過について

戸田 經也君

アメリカ帝國主義の發展

吉川 和夫君

—縣令側と民權側を中心にして—

土河 次郎君

南北戰爭の性格と本質及びダグラスとの關係

竹内 明男君

鎖國の原因に關する一考察

渡邊 享君

宗教改革の先驅—ウイクリフの主張及び影響に關する考察

坂口 允彦君

坂本龍馬の會議政治論その内容について

米田 欣治君

一九二九年に於ける恐慌の原因についての考察

横山 一郎君

松平定信の棄損令について

江井 實君

一九二九年に於ける恐慌の原因についての考察

中川 透君

江戸時代の陸路交通について

石原 扶佐君

西鶴と元祿期新興町人層

作品（町人物）に現れた町人階層の變遷を通じてみた西鶴

の主體性

守護領國制に關する一考察—國人層の動向について—

小谷 俊彦君

江戸時代に於ける蠶糸業の發達（蠶糸政策を中心として）

河野徳太郎君

渡邊華山と洋學團體について

榊原 幸道君

日明關係より見た後倭寇

澤野 通子君

—その發生及び性格の考察—

四至本豊治君

桃山文化の成立の背景

東洋史專攻

マテオ・リツチの中國布教と中國の二つの階層

外崎 宏司君

—トリゴアの記述による—

元代に於ける色目人の地位

一之瀬輝夫君

明代の水軍

平田 暢夫君

苦力貿易とアメリカ大陸

小川 久夫君

テトロドトキシ

中村 博君

—中國で河豚はいかに認識されてきたか—

第三十卷第二號正誤表

頁	行	誤	正
三	1	正史に初めて現われるのは（削除）	正史に初めて現われるのは（削除）
三	11	天平勝寶五年	天平勝寶六年
三	11	事件より十三年の後	事件より十二年の後
三	12	源平之氏	源平二氏
三	11	破滅 _二 當宮 _一 之剋	破滅 _二 當宮 _一 之剋
三	11	濫 _二 入宮寺 _一 淨場搜取 _二 往	濫 _二 入宮寺淨場 _一 搜 _二 取往
三	13	古文書、	古文書、
三	5	（託宣集、序文）	（託宣集、序文）
三	9	跋文からなつてゐる次に	跋文からなつてゐる。次に
三	9	さてこゝで	さてこゝで
三	9	入 _レ 手而養 _レ 之追 _レ 日而神	入 _レ 手而養 _レ 之追 _レ 日而神
三	7	也	也
三	7	爲 _レ 令 _二 夷類征伐 _一 於夷國	爲 _レ 令 _二 夷類征 _一 伐於夷國
三	14	承和十一年	承和十一年
三	14	得 _二 神主正八位下大神朝	得 _二 神主正八位下大神朝
三	13	臣清麿等解狀 _一 併	臣清麿等解狀 _一 併
三	9	文治元年十月十六日	文治元年十月十六日